

2018年5月1日

各 位

会社名 ビート・ホールディングス・リミテッド

(URL: https://www.beatholdings.com/)

代表者名 最高経営責任者 (CEO)

レン・イー・ハン

(東証第二部 コード番号:9399)

連絡先 経営企画室マネージャー

高山 雄太

(電話:03-4570-0741)

新株予約権の一部譲渡に関するお知らせ(続報)

当社は2016年12月25日付で開示したプレス・リリース「新株予約権の一部譲渡に関するお知らせ」にて当社の株主であるEsther Mo Pei Fei 氏(以下「モー氏」といいます。)が保有する「2016年12月22日発行新華ホールディングス・リミテッド*新株予約権(第三者割当)」(以下「新株予約権」といいます。)の一部を第三者に譲渡(以下「本件譲渡」といいます。)した旨をお知らせいたしました。今般、当該新株予約権の譲渡先を確認できましたので、当該譲渡先の概要及び今後の見通しを以下のとおりお知らせいたします。上記のプレス・リリースも併せてご参照ください。

*「新華ホールディングス・リミテッド」は、当社の旧商号です。

1. 譲渡先の概要

本件譲渡による 3,000,000 個の新株予約権の譲渡先は、以下のとおり Rafael Reyes 氏(以下「レイエス氏」といいます。)及び同氏が指名する者(Nominee、以下「ノミニー」といいます。またレイエス氏及びノミニーを総称して「譲渡先」といいます。)とのことです。

譲渡先:

| (1) | 氏 名 | Rafael Reyes 氏 |
|-----|-------------------|--------------------------|
| (2) | 住 | Taguig City, Philippines |
| (3) | 職業又は役職 | 不明 |
| (4) | 上場会社と当該個人との 間の 関係 | 特筆すべき関係はありません。 |

(注) 現時点で、当社はノミニーの概要を確認できておりません。

2. 今後の見通し

当社は、モー氏及びレイエス氏に本件譲渡の理由及び今後の当社株式及び新株予約権の保有方針の確認を行いました。モー氏は、近時の当社の株価の上昇に伴い利益を得るために同氏の保有する新株予約権の一部を譲渡し、保有目的は、2016年11月11日付プレス・リリース「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行、普通株式及びA種優先株式の譲渡承認並びに償還に関するお知らせ」にて開示したとおり投資目的で



変わりはないとのことです。また、レイエス氏が新株予約権を譲受けたのは投資目的であり、現時点で保有期間や処分のタイミング等に関する具体的な方針は定めていないとのことです。

そのため本件譲渡による当社の経営及び業績等に与える影響を判断するのは難しい状況ですが、本件譲渡に係る新株予約権が全て行使されたとしても、本日現在の当社の発行済株式総数(15,984,481.79 株(普通株式及び A 種優先株式)を元に計算した譲渡先の保有比率は 15.8% であるため、現時点では、当該影響は軽微であると考えております。また、当社としては、本件譲渡により新株予約権の行使が促進されることを期待しております。なお、今後公表すべき事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上



ビート・ホールディングス・リミテッドについて

当社、ビート・ホールディングス・リミテッドは複合的な事業を展開するグループ企業であり、主にシンガポール、中国及びその他のアジアの地域において事業を展開しております。当社は、A2P メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービスを提供しています。また、ウェルネス・サービス、ヘルスケア・ウェアラブル端末、センサー、メディカル情報、データ分析を提供し、知的財産権及びその他の権利のライセンシング事業も行っております。当社は、東京証券取引所の市場第二部に上場(証券コード:9399)しており、香港に事業本部を構え、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト: https://www.beatholdings.com/ をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる 投資家も本書の情報に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を判断する投資家は、 有価証券報告書を含む提出書類を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を熟慮した上でか かる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を 含んでいます。多くの要因が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に 関する記述で明示または黙示に示される将来の結果及び業績などとは大きく異なることがあります。